

重要情報シート(個別商品編)
セゾン資産形成の達人ファンド

重要情報シート公表に向けて

2020年8月に金融審議会市場ワーキング・グループから「顧客本位の業務運営の進展に向けて」という報告書が公表されました。その主旨の中核が、既存の「顧客本位の業務運営に関する原則」の金融業界内における形骸化状況に鑑みた改定案で、その中に顧客との利益相反も含め金融商品・サービスに関する重要な情報を簡潔に記載した、顧客にわかりやすい情報提供を図るための「重要情報シート」の活用が提言として盛り込まれました。

本来当該シートは金融事業者横断的な共通書式を前提としていますが、未だ業界内で導入の目途が立っていません。もとよりセゾン投信は「お客さま全部主義」を経営理念の根幹に掲げ、顧客本位の実践を事業モデルの支柱に据えており、今般業界スタンダードの実施に先んじて、当社独自のオリジナル「重要情報シート」を作成し公表することにいたしました。

今後、お客さまがセゾン投信を通じた長期投資の旅へのご参加を検討されるうえで、当該「重要情報シート」を是非にご活用くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

セゾン投信 代表取締役会長CEO 中野 晴啓

1. 商品等の内容

(当社は、組成会社兼販売会社である直販会社として、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています)

金融商品の名称・種類	セゾン資産形成の達人ファンド
組成会社(運用会社)	セゾン投信株式会社
販売委託元	セゾン投信株式会社
金融商品の目的・機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長期の資産形成のための商品です。 ■ 長期的な視点で国内外の個別銘柄の価値に着目して投資を行う、ハイリスク・ハイリターン型の株式ファンドです。 ■ 多面的な調査を行った上で価値に対して割安と考えられる株式に投資を行う国内外のファンドに分散投資を行うことにより、リスクを抑えながら長期的に高いリターンの獲得を目指しています。 ■ リスクを軽減するために以下の投資行動を推奨しています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「定期積立プラン」による購入 2. 長期投資 3. 定期換金サービス「セゾン定期便」の活用(資産を取り崩し定期的に売却する場合)
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自らが納得できる豊かな将来を実現するために、経済的自立を目指している全ての生活者で、世代は問いません。 ■ ただし、国際分散型株式ファンドとしての、ハイリスクを許容できる方を想定しています。 ■ 当商品は長期の資産形成のための商品ですので、短期での利益確定を求め、長期保有を希望しないお客さまには適しません。
パッケージ化の有無	この商品は複数のファンドを組み入れるファンド・オブ・ファンズ(FOFs)です。組入れ対象ファンドは機関投資家向けファンドのため直接投資することは現実的ではありません。
クーリング・オフの有無	ありません。

2. リスクと運用実績 (本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

損失が生じるリスクの内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ リスクとは元本が毀損することであり、分散投資することでそのリスクを軽減したいと当社は考えております。分散投資は、「短期的な価格変動リスク」と「長期的に資産を減らすリスク」の両方を軽減する手段です。 ■ 「短期的な価格変動リスク」は、投資対象が取引されている市場の動きから生じ、市場の動きは市場参加者の将来に対する見方の変化の影響を受けると考えられます。 ■ 「長期的に資産を減らすリスク」は、結果的に価値が無くなるものに投資することや高すぎる価格で株式や債券を購入することにより生じます。 ■ セゾン資産形成の達人ファンドは国内外の株式に分散投資を行うほか、価値に対して割安と考える株式を購入し保有し続けることで「短期的な価格変動リスク」、「長期的に元本が棄損するリスク」を軽減しておりますが、さらにリスクを軽減するために「定期積立プラン」によりご購入いただくことを推奨しております。 ■ 当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。 「価格変動リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」
〔参考〕過去の収益率	<ul style="list-style-type: none"> ■ 過去1年間の収益率 54.33%(2021年3月末時点) ■ 過去5年間の収益率(年率) 13.55%(2021年3月末時点)

*損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」の項目、運用実績の詳細は【交付目論見書】の「運用実績」の項目に記載しています。

3. 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します)

購入時に支払う費用(販売手数料など)	購入時手数料はかかりません。
継続的に支払う費用(当ファンドの信託報酬および投資対象とする投資信託証券の信託報酬など)	実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%程度(税込)となります。(2020年12月10日期末の決算実績値:年1.44%)
運用成果に応じた費用(成功報酬など)	かかりません。

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「ファンドの費用・税金」の項目に記載しています。

4. 換金・解約の条件 (本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

この商品の償還期限はありません。ただし、繰上償還が行われる場合があります。

この商品をお客さまが換金・解約しようとする場合には、信託財産留保額(注)として、換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額をご負担いただきます。

(注)換金時に発生する費用から信託財産を守るために、換金する人がファンドに残す財産のことです。

大口の換金請求については制限を設ける場合があります。

当社では、同一の解約請求日において、複数回の解約請求を行うことができません。

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

当社がお客さまより頂戴している費用は信託報酬以外ございません。

当社はお客さまより販売手数料を頂戴しておりません。

当社がお客さまにこの商品を販売した場合、当社は、お客さまが支払う信託報酬のうち、販売の対価として年0.200%(税抜)の手料を頂きます。(純資産総額800億円超の部分は年0.204%(税抜))これは運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。

当社は、お客さまと価値観、目標を共有する「直販」というスタイルを貫いています。販売会社としての立場、商品組成会社としての立場とともに、お客さまの資産極大化と当社利益の増大という利益で一致しています。

当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、当社「フィデューシャリー宣言」の2.利益相反の回避をご参照ください。
(URL) <https://www.saison-am.co.jp/guide/fiduciary/>

6. 租税の概要 (NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください)

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

当社での取り扱いにおいては、NISA、つみたてNISAの対象商品です。iDeCoについては、運営管理機関にご確認ください。
※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「ファンドの費用・税金」の項目に記載しています。

7. その他参考情報 (契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください)

販売会社(当社)が作成した「契約締結前交付書面」(目論見書の最終ページ)
(URL) https://www.saison-am.co.jp/fund/master/_pdf/prospectus2.pdf

組成会社が作成した「目論見書」
(URL) https://www.saison-am.co.jp/fund/master/_pdf/prospectus2.pdf



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「契約締結前交付書面」、金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご希望があれば、冊子でお渡します。

商号：セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会：一般社団法人投資信託協会

質問例もぜひご覧ください。

(気になる番号・質問をクリックすると回答をご確認いただけます。)

- ① この商品に関する問合せ先はありますか？
- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができますか？
- ③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか？
- ④ リスクについて、私が理解できるように説明してください。
- ⑤ 相対的にリスクが低い類似商品がありますか？
あればその商品について説明してください。
- ⑥ 私がこの商品に100万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してください。
- ⑦ 費用がより安い類似商品がありますか？
あればその商品について説明してください。
- ⑧ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていませんか？
私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっていますか？

【質問】

- ① この商品に関する問合せ先はありますか？

【回答】

はい。ご不明な点がございましたら、お気軽に当社お客さま窓口までお問い合わせください。

【お客さま窓口】

TEL：03-3988-8668

営業時間：9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

※新型コロナウイルスの影響に伴い、当面の間、営業時間を10:00～16:00に短縮しております。

[よくあるご質問](#)も含めた[「お問い合わせページ」](#)もぜひご活用ください。

なお、当商品は長期の資産形成のための商品ですので、短期での利益確定を求め、長期保有を希望しないお客さまには適しません。予めご留意ください。

【質問】

- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができますか？

【回答】

当社では、一人ひとりのお客さまが資産を増やしていただくために大切なのは、商品自体のリターンだけではなく、お客さまの「投資行動」そのものが重要であると考え、「長期・積立・国際分散投資」の「投資三原則」を推奨しております。その実践ができるよう、当社ではセミナー、運用レポート、メールマガジン、各種動画等を通じた豊富な情報コンテンツで、お客さまの長期投資を献身的にサポートいたします。

【質問】

- ③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか？

【回答】

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用しております。ファンド・オブ・ファンズ方式とは、株式や債券などの資産に直接投資するのではなく、株式や債券に投資している複数の投資信託に投資して、運用を行う仕組みです。

個別の株式やファンドを購入する場合と比べ、より多くの銘柄に投資することができ、分散投資の効果が得られます。また専門家が最適なポートフォリオを構成、リバランス等の運用・管理を行うため、手間がかかりません。

一方で当ファンド及び投資対象とするファンドの費用が二重でかかります。

【質問】

④ リスクについて、私が理解できるように説明してください。

【回答】

○価格変動リスク

株式の場合は、株価が変動することによるリスクです。

債券の場合は、金利が変動し、債券価格が変動することによるリスクです。(一般に債券価格は金利が上昇した場合は下落し、金利が下落した場合に上昇します。)

○為替変動リスク

為替レートが変動することによるリスクです。

(為替市場で円高となった場合、外貨建て資産は円建(換算)での評価額が下落して基準価額の下落要因となり、円安となった場合、外貨建て資産は円建(換算)での評価額が上昇して基準価額の上昇要因となります。)

○カントリーリスク

投資対象国や地域において、政治・経済・社会の状況の変化によって証券市場や為替市場に混乱が生じた場合、そこに投資した資産の価値が変動するリスク、株式や債券などが換金できなくなるリスク、資金を国外に持ち出すことができなくなるリスクです。

○信用リスク

主に企業が発行する債券(社債)において、企業の経営が悪化し、約束手通りに元本や利息が支払われないリスクです。

○流動性リスク

市場規模が小さい市場や取引量が少ない市場で取引を行った場合に、十分な取引相手が存在せず、売却をしようとしても、売却ができない、もしくは著しく低い価格でしか売却ができないリスクです。何らかの悪いニュースを受けて、市場で売却を希望する人が多数存在する一方で購入を希望する人がほとんど存在せず、売却をしようとしても、売却ができない、もしくは著しく低い価格でしか売却ができないリスクです。

【質問】

- ⑤ 相対的にリスクが低い類似商品がありますか？
あればその商品について説明してください。

【回答】

当社で取り扱うファンドにおいては、相対的にリスクが低い類似商品はありません。

【質問】

- ⑥ 私がこの商品に100万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してください。

【回答】

- 購入時：購入時手数料はかかりません。
- 保有時：当ファンド及び投資対象とするファンドの信託報酬として年間11,500円～15,500円程度かかります。

その他監査費用等の諸費用がかかりますが、運用状況により変動するものであり、事前にお示しできません。
- 解約時：仮に、100万円相当の持ち分を解約した場合、信託財産留保額として1,000円差し引かれます。(その他、投資口座の種別により所定の税金が控除されます)

【質問】

- ⑦ 費用がより安い類似商品がありますか？
あればその商品について説明してください。

【回答】

当社で取り扱うファンドにおいては、費用のより安い類似商品はありません。

【質問】

- ⑧ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていませんか？私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっていますか？

【回答】

当社は販売手数料を頂戴しておりません。従いまして、頻繁なファンドの乗り換えをお勧めする動機付けはありません。また、販売員に対して販売額に応じた報奨金制度は定めておりません。